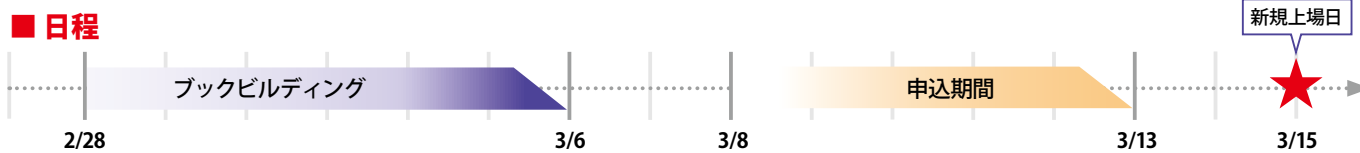


IPO銘柄 ファイズ (9325・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
9325	100株	公募: 30.00万株 売出: 25.00万株 (OA8.25万株)	1,200円~1,250円 (14.9倍)	大和証券



アマゾンジャパン向けを主力にECソリューションサービスを展開

■ 事業内容

ECソリューションサービス事業として、ユーザーがEコマース (= EC・電子商取引) で商品を注文した後、EC運営企業やメーカーなどの拠点からユーザー宅までの物流を一貫して手掛ける。EC世界最大手のアマゾンの日本法人、アマゾンジャパン向けが売上高の6割程度を占める。EC運営企業やメーカー、配送会社などの拠点内オペレーションコンサルティング業務、拠点内オペレーション業務のほか、一般労働者派遣のオペレーションサービス、拠点間の商品輸送を行うロジスティクスサービス、商品宅配のデリバリーサービスなどがある。拠点は国内に10。ECソリューションサービス事業の単一業態。

■ 特徴

同社は、ただ配送を行うだけでなく、物流戦略の企画・立案、物流システムの構築など、コンサルティング業務を含めた包括的なサービスを提供している点が特徴。ECはリアル店舗と比較して来店数 (閲覧数)、取扱いアイテム数が多く、注文内容、数量が予測しにくい面がある。しかし、同社サービスを利用すれば、現場作業の外注を抑え、労働力を内製化できることで、顧客の要望に応じた品質、フレキシブルな対応が可能になる。

アナリストコメント

■ 定量分析

17年3月期の非連結経常利益は前期比2.8倍の2億9,100万円を予想。足元で急速な業績成長率となっている。最大顧客のアマゾンの躍進に連動した成長だが、一方でアマゾン依存度の高さは懸念材料にもなる。

■ 定性分析

スマホの普及などを背景にEC市場の拡大が続いている。その市場拡大をけん引するのはサービス面では他を圧倒するアマゾンであり、勝ち馬に乗る企業として注目できそうだ。運輸業界の繁忙が伝わる中でテーマ性が注目されそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約8億円程度。ベンチャーキャピタル保有株などもなく、需給面に不安は乏しい。3月は新規上場案件が集中するため資金分散による影響が懸念されるが、3月15日は同社の上場となっている。

(小泉健太)

■ 類似企業

ファイズ(9325・マザーズ)	予想PER14.9倍 (仮条件上限)
SBSホールディングス (2384・東証1部)	予想PER8.4倍
丸和運輸機関 (9090・東証1部)	予想PER14.8倍

■ 引受証券

大和証券、SMBC日興証券、みずほ証券、SBI証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年3月期(実績)	2,191	—	27	—	5	—	2.6	0.0
16年3月期(実績)	3,492	59.4	105	3.8倍	47	9.4倍	24.5	0.0
17年3月期(会社予想)	5,125	46.7	291	2.8倍	180	3.8倍	84.0	0.0

※ 16年11月に株式分割(1株→200株)を実施。15年3月期、16年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年3月期	9,700	886	84	9	43.8	9.6	6.1
16年3月期	10,700	1,184	142	10	66.6	12.0	41.8

※ 15年3月期、および16年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	金森 勉	1,800,000	76.94
2	榎屋 幸生	144,800	6.19
3	Kanamoriアセジメント	140,000	5.98
4	ファイズ従業員持株会	86,800	3.71
5	田中 勝也	38,000	1.62
6	吉島 伸一	14,000	0.6
6	奥津 慎	14,000	0.6

経営陣

	役職	氏名
	代表取締役社長	榎屋 幸生
	取締役 営業本部長	田中 勝也
	取締役 管理本部長	奥津 慎
	取締役	平康 慶浩
	常勤監査役	吉島 伸一
	監査役	長谷川 直
	監査役	藤原 誠

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。